

内務省特報

兼任福岡鎮山監督局長(二、一一三)

福岡縣知事 吉田茂

任群馬縣知事(一、二五)

農政局長 石井英之助

任宮城縣知事(一、二五)

山林局長 西村彰一

任農商次官(二、二五)

農商省總務局長 重政誠之

兼任馬鹿山監督局長(二、二五)

丸山鶴吉

◎各府縣内政部長事務打合會並内相示訓
全國内政部長會議事務打合會の第一日は二月二十八日午前九時より
内務省第一會議室で開會、左の事項を指示した

市町村における神社行政事務の指導監督、町内會、部落會等の運營
指導、改正地方制度の運用、戰時執務態勢の確立、市町村行政上重要
事項の連絡通報、昭和十九年度市町村財源の擴充とその財政運営、都
市疎開防空救護等

安藤内務大臣は次の訓示を爲した。訓示要旨

政府は決戦非常措置要綱を決定して緊急戰力の増強に精進刻苦することとなつたが、都道府縣または行政協議會の行政的責任は加重しその範圍はます／＼多岐廣汎となり、これに執掌する官吏の努力が強く要求されるに至つてゐる。さきに戰時官吏服務令を御制定に相成り、戰時下實踐すべき要綱を指示せられたが、特にその第六項において官

吏の率先垂範について強調せられてゐることは官吏に對する民間のとかくの非難に鑑みて官吏の一大猛省を願ふためである、公吏についても戰時公吏服務令が制定せられたが、公吏の指導訓練上責任ある各位の一層積極的の考慮と實踐とを切に望む、神社行政の伸暢については今回特に神社行政機構を充實したのであるが、支那事變以來靖國神社に合祀された英靈は既に十六萬を數へ、これらの遺族は全國の津々浦々にある、さらに殆んど全國民の家族、親戚、知己の間から送り出された將兵幾百萬は神州の安危を一身に擔ひ悉く神兵となつて戰ひつゝある、この際國民のこの自然に湧き出る切なる心情を清く明く正しく助長育成し敬神崇祖の美風を振作せられたいのである。

地方行政機構の整備強化と総合行政の積極果敢なる運營の緊要度はます／＼加はつてきてゐる、客年國政運營要綱決定の際にも、今次決戰非常措置要綱決定に當つても重要事項としてとりあげた次第である、防空行政は中央地方とも行政の全般に密接不離の關係を有してゐるので各位はその主管に偏ると否とに拘らず舉學一體非常に臨んで混亂蹉跎なきやうその護りの完璧を期して努力推進せられることを望む。

×

×

×

×

×

×

×

×